

焦土からの芽吹き

～再生の道筋とモラルキャピタリズム～

2009年7月12日（日）～14日（火）

スイス／コー（Caux）

2009年4月

特定非営利活動法人 経済人コー円卓会議日本委員会
会長 矢野 弘典

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

経済人コー円卓会議（CRT）は、24回目となる国際会議「CRTグローバルダイアログ」を、スイスのモントルー郊外のコー（Caux）において、2009年7月12日（日）～14日（火）の3日間で開催致します。

CRTが24年間にわたってグローバルダイアログを開催してきた中で、今日ほど意義深い時期はないといえるでしょう。現在グローバルな資本主義が瀕している歴史的な危機においては、全ての面で「従来のビジネス」における我々の命運が試されています。

たくさん間違いが犯され、たくさんの人々が苦しんでいます。それらの失敗はビジネスリーダーや金融市場の分別のある監督者達が、彼らの知恵と倫理感から得た信頼を乱用したことにその原因があります。今こそ経済人コー円卓会議の「企業の行動指針」がグローバルの繁栄に重要な意味を持つ時なのです。

そこでCRTでは、今回のグローバルダイアログのテーマを「焦土からの芽吹き～再生の道筋としてのモラルキャピタリズム～」と致しました。

会議は、2日目に今回発生した危機の原因についての議論を行い、具体的な提案を会議の最終日に提示する予定であります。また、CRTのグローバルガバニングボードは、会議の終了時に最終的な提案についての講評を発表する予定です。

本会議はスイスのコーにあるマウンテンハウスで7月12日の夕食会を皮切りに、14日の夜までの日程といたしております。詳細につきましては次頁以降をご参照願いますが、ご不明の点などございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

経済人コー円卓会議日本委員会

東京都渋谷区桜丘町 29-33 渋谷三信マンション 505 号室 〒150-0031

電話: 03-5728-6365 FAX: 03-5728-6366

ホームページ: <http://www.crt-japan.jp>

参加要領

= スケジュール、費用等について =

1. 参加者

参加資格としては、当会の法人A会員（年会費：10万円）以上といたします。

2. 参加申込

参加申込の締切は5月15日(金)です。申込は同封の返信用紙にて必要事項をご記入の上、ファクシミリにてご返信下さいませよう宜しくお願いします。尚、参加費は、下記口座にお振り込み下さい。会費の入金の確認をもってお申し込み完了とさせていただきます。

みずほ銀行 渋谷中央支店（普） 1152174
口座名 特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会
トク) ケイダ イジノコエンタカカイ ニホイカイ)

キャンセル料

5月15日から6月22日までの間のキャンセル・・・参加費の50%
6月23日以降のキャンセル・・・・・・・・・・・・・参加費の全額

3. 日時及び場所

2009年7月12日（日）～7月14日（火）

Mountain House, Caux CH-1824, Switzerland

TEL: +41 (0)21 962 91 11 FAX: + 41 (0)21 962 93 55

4. 宿泊施設

コー・マウンテンハウス

5. 参加諸費用

会議参加費（含 事務経費）

- 参加者：¥100,000.-
- 配偶者：¥ 50,000.-

(注1) 上記会議参加費には会議費の他に、7月12日（日）の夕食から15日（水）

朝食迄のコー・マウンテンハウスの宿泊費、全ての食事・喫茶代が含まれています。

(注2) コー・マウンテンハウスまでの往復の交通費については、各自で別途ご対応頂きますよう宜しくお願いします。

6. 交通

《車の場合》

- ・ジュネーブ空港より約1時間30分、ローザンヌより約40分、
- ・モントルーより約20分

《列車の場合》

- ・ジュネーブ空港駅より約1時間30分、ローザンヌ駅より約1時間
- ・チューリッヒ空港駅より約4時間

経済人コー円卓会議日本委員会

東京都渋谷区桜丘町 29-33 渋谷三信マンション 505 号室 〒150-0031

電話: 03-5728-6365 FAX: 03-5728-6366

ホームページ: <http://www.crt-japan.jp>

7. 使用言語

英語

8. お問い合わせ先

経済人コー円卓会議日本委員会（担当：石田）
電話 03 - 5728-6365 Fax 03-5728-6366
e-mail : hiroshi_ishida@crt-japan.jp
<http://www.crt-japan.jp>

《コー・マウンテンハウスとは》

コーのマウンテンハウスの前身は、1902年にオープンした「コー・パレスホテル」という豪華ホテルでしたが、第二次世界大戦中は戦争避難民の収容施設として使われるなど、荒廃していました。

戦後まもなく、「分裂してしまったヨーロッパの融和と世界平和のために、世界中の人々が集える場所としてこのマウンテンハウスを活かせないだろうか」と考えたスイス外交官と、そのビジョンに共鳴したスイスの95家族が私財を投げうってマウンテンハウスを買い取り、多くの人々の勤労奉仕によって修復されたうえで、IC (Initiatives of Change) に寄贈したものです。

※ICとは、あらゆる民族、宗教、国籍を超えて、世界約80カ国で和解と融和をもたらすための諸活動を行っている国際NGO（非政府組織）です。

ICでは、この主旨に沿って終戦翌年の1946年に第一回目のIC世界大会を開催、以降毎年同じ場所で同大会を開催しています。会議開始後5年間にドイツとフランスから延べ4,000名の人々が世界大会に参加し、和解を実現し、後のEC設立基盤作りの一翼を担うなど、対立する国々や人々の間に多くの融和を生む舞台を提供してきました。

サンフランシスコで対日講和条約が締結される前年の1950年には、広島、長崎市長を初め、財界人、労働組合代表、国会議員など72名からなる日本代表団がコーを訪れ、孤立していた日本が国際社会に再び迎え入れられるための橋渡しの役目を果たしました。そして、その後も多くの日本人が毎年コーを訪れています。



コー・マウンテンハウス

経済人コー円卓会議日本委員会

東京都渋谷区桜丘町 29-33 渋谷三信マンション 505 号室 〒150-0031

電話: 03-5728-6365 FAX: 03-5728-6366

ホームページ: <http://www.crt-japan.jp>

第24回 CRT グローバルダイアログ 日 程

7月12日(日)

18:00 開会式、夕食会

7月13日(月)

8:30 会長挨拶

—グローバル経済人コー円卓会議 会長 Daniel Brennan 卿

9:00 グローバル危機について講演

—Robert Skidelsky 氏

10:00 危機に対する経済人コー円卓会議からの発言

—経済人コー円卓会議経営副議長 Noel Purcell 氏

10:30 休憩

11:00 「誰が公益を提供するべきか：市場か政府か？」

12:30 昼食

講話：ドイツ経済人コー円卓会議 Heribert Schmitz 氏

14:00 「公益としての金融仲介活動の規制：

機能のために「見える手」はもっと必要か？」

15:30 休憩

16:00 「新しいグローバル機構の形成：性質・道徳・倫理的行動を形成する機関」

17:30 閉会の辞

19:00 夕食

7月14日(火)

9:00 「新しいグローバル機構の形成Ⅱ：市場」

10:30 休憩

11:00 「新しいグローバル機構の形成Ⅲ：政府と多国籍組織」

12:00 昼食

14:00 各国 CRT 組織による報告

(米国、オランダ、ドイツ、日本、ポーランド、ロシア、中国、クロアチア、セルビア、ルーマニア、タイ、マレーシア、シンガポール、メキシコ、カナダ、英国)

15:30 休憩

16:00 要約

17:30 閉会の辞とまとめ

19:00 夕食会

(一部予告無く変更することがあります。予めご了承下さい)

経済人コー円卓会議日本委員会

東京都渋谷区桜丘町 29-33 渋谷三信マンション 505 号室 〒150-0031

電話: 03-5728-6365 FAX: 03-5728-6366

ホームページ: <http://www.crt-japan.jp>

経済人コー円卓会議日本委員会 行

第24回CRTグローバルダイアログ
2009年7月12日 - 14日
参加申込書

氏 名： _____

同伴者氏名： _____

自宅住所： _____

電話/Fax： _____

E-mail： _____

所属団体または会社名及び役職：

電話/Fax： _____

○印（同伴者ありの場合はその人数）を下欄に記入して下さい。

	グローバル ダイアログに参加	配偶者 プログラムに参加
7月12日		
7月13日		
7月14日		

現地到着及び出発予定時刻

[到着] 7月 日 午前・午後 () 時頃

[出発] 7月 日 午前・午後 () 時頃

—— 通信欄 ——